

「法曹養成制度シンポジウム  
法曹養成の課題－その現状と民事法教育のあり方－」  
開催のご案内

大阪弁護士会  
会長 畑 守 人  
同法曹養成・法科大学院協力センター  
委員長 尾 崎 雅 俊

新しい法曹養成制度の中核となる法科大学院が発足して5年目となり、法科大学院、新司法試験、新修習を経た新法曹がすでに実務界で活躍し始めています。

当会も、よりよい法曹養成制度の確立に寄与すべく、新しい制度下での司法修習生の受入れ・指導はもとより、法科大学院生を対象としたエクスターンシップの実施支援やロールームの開講、新司法試験合格者を対象とした修習開始前研修会（事前研修）の実施等を行い、また、司法修習生を対象とした就職支援の活動も行っておりました。さらに、当会所属の多数の会員が教員として法科大学院教育に携わっています。

そこで、当会は、このような経験等も踏まえ、法曹養成過程を法科大学院・司法試験・司法修習・法曹採用の4段階に分けて具体的に検討し、さらに民事法教育に焦点を当ててその在り方や課題について検討すべく、掲題のシンポジウム（「法曹養成制度シンポジウム～法曹養成の課題－その現状と民事法教育のあり方－」）を企画致しました。

つきましては、下記の通りご案内申しあげますので、法科大学院及び司法修習関係各位、その他この問題にご関心をお持ちの方々（院生、修習生を含む。）の多数のご参加を賜りたく、ご案内申しあげます。

記

- (1) 日 時 2010（平成22）年3月6日（土） 12時30分～16時30分  
(2) 場 所 大阪弁護士会館（大阪市北区西天満1-12-5、下図ご参照）  
2階ホール



(3) 内 容 (予定)

第1部「法曹養成制度の現状の諸問題」(問題意識共有のための小報告と質疑応答)

【報告者(予定)のご紹介(敬称略)】

①法科大学院の現状について

同志社大学法科大学院司法研究科長・弁護士 森 田 章

②司法試験の現状について

弁護士・日弁連法科大学院センター副委員長 榎 本 修

③司法修習の現状について

弁護士・大阪弁護士会修習委員会副委員長 泉 薫

④採用問題の現状について

神戸大学法科大学院教授 中 川 丈 久

弁護士・大阪弁護士会司法修習生及び弁護士の就職支援

に関する特別委員会委員長代行 和 田 秀 治

(司会進行 大阪弁護士会法曹養成・法科大学院協力センター副委員長 藤 本 一 郎)

第2部「法科大学院教育と司法修習での教育—文書作成教育と実体法教育(民事)を中心に—」(パネルディスカッションと質疑応答)

【パネリスト(予定)のご紹介(敬称略)】

京都大学法科大学院教授 佐久間 毅

弁護士・元司法研修所教官 市野澤 要 治

弁護士・関西学院大学法科大学院教授 池 田 直 樹

弁 護 士 林 功

ほか数名

(司会進行 大阪弁護士会法曹養成・法科大学院協力センター副委員長 高 橋 司)

【討論予定のテーマ】

① 文書作成教育の現状・問題点・提言

② 法律基礎科目(特に民事実体法)の教育の現状・問題点・提言

(4) 参加方法

本書下部の「参加申込書」に必要事項をご記入の上、**2010(平成22)年2月末までに**、担当事務局(大阪弁護士会 委員会担当室 南)宛てにファクシミリ(06-6364-0252)、又は電子メール(h-minami@osakaben.or.jp)にてお送り下さい(会場の都合上、定員(150名)を超過した場合は、お申込みを受け付けられない場合、もしくは参加人数の調整をお願いする場合がございますので、ご了承下さい)。

※なお、シンポジウム終了後に、懇親会を予定しております。

---

【参加申込書】

大阪弁護士会法曹養成・法科大学院協力センター

担当事務局 南 一二美 宛 (FAX 06-6364-0252)

「法曹養成制度シンポジウム 法曹養成の課題—その現状と民事法教育のあり方—」

(2010年3月6日12時30分)に参加したく申込みます。

ご氏名： \_\_\_\_\_ ご所属： \_\_\_\_\_

ご連絡先：(ご住所)

(電話番号) \_\_\_\_\_ (F A X) \_\_\_\_\_

(電子メール) \_\_\_\_\_

※懇親会に、 1. 参加します 2. 参加しません (いずれかに○)